

戸籍の窓

[7月 1日～7月31日 届出]

ご結婚おめでとう

氏名	住所
梅津 勇士	十王
田中美穂	長井市
鈴木 一浩	浅立
横澤 里加	深山

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
滝野	小林 誠 美由希	あおい 葵
高岡	小口 貴幸 明日香	ちきり 陽
荒砥乙	橋本 一紀 千尋	りゅう 雅
鮎貝	鈴木 洋明 春美	ぜん 大
広野	鈴木 清登 愛	つづ ち
十王	小川 恭平 瞳	おっ 華
箕和田	江口 智裕 芳恵	し 菜
浅立	岡田 隆希 恵美子	みな 翔
十王	佐藤 廉雅	そら 颯

お く や み

住所	氏名	年齢
荒砥乙	保科 昌次	86
十王	高屋 金行	70
高玉	金田 昭雄	72
萩野	小川 勝次	87
荒砥乙	鈴木 やす子	60
滝野	鈴木 けさの	83
鮎貝	新野 榮	96
広野	梅津 忠吉	85
荒砥甲	土屋 敬二	77
鮎貝	黒澤 春雄	91
黒鴨	原田 とみ	88
横田尻	菅野 惣助	86



しらたか旅先案内さんによるワンポイントガイド

竹田陽子 さん



石川吉雄 さん

私達になじみ深い最上川は、一つの県を流れる河川としては国内では最も長く、総延長は229km。日本三大急流の一つに数えられています。白鷹町を二分するように流れるこの川の舟運は、十七世紀後半に黒滝(菅蒲)を開削し、一段深い「舟道」と呼ばれる水路を掘ることで、活発になりました。渇水する夏の時期は「舟道」の開削跡を観察する絶好の機会です。また、国道287号線から高岡に向かう黒滝橋の下に立つ巨石「つぶて石」には、朝比奈三郎が朝日岳の頂上から左手で投げて落ちたのがこの石であるとの伝説が。石の裏側に手形の様な跡があり、何とも豪快です。最上川の堤防治いを歩き、様々な歴史に触れる楽しさを感じて頂けたらと思います。

「舟道とつぶて石」

今年4月に開校した白鷹中学校。2・3年生は、3月までは西中学校と東中学校としてライバル同士だった部活動。4月からは、同じチームとして勝利を目指しています。6月の地区大会予選を突破したチームは7月、県大会に出場。団体戦においては、県大会の壁は厚く入賞を逃しました。しかし、仲間とともに戦った思いは、青春の1ページにきつと深く刻まれることでしょう。

表紙の写真



「青春バンザイ 白鷹中学校」わが町出身の田勢康弘氏が作詞された校歌は、このフレーズで締めくくられています。

「紅花」[SHIRATAKA RED]は思いきってカラーページにしました。美味しいがカタチになるってうれしいですね。白鷹町の野菜や果物で新商品がたくさんできるといいなあと思います。もし6次産業化について詳しく知りたい方は、白鷹産業センター産業コーディネーター小関さん(☎8510055)までお願いします。(てづか)

7月は紅花の季節。わたし自身初めて紅花摘みも経験し、あらためて紅花生産日本一のおさを知りました。

表紙は紅花にする予定が、中学校の野球部の顧問の先生からお借りした写真を一目見て、「これだっ」と思い今月の表紙とさせていただきます。ありがとうございました。

